

【平成 23 年度 e－モニターアンケート結果概要】

「人権が尊重される社会づくり」に関する e－モニターアンケート実施報告

「人権が尊重される社会づくり」に関するアンケートの実施結果を 下記のとおりご報告いたします。

アンケートにご協力いただきました e－モニターの皆さまに厚くお礼を申し上げます。

アンケート概要

- 1 実施期間 平成 23 年 11 月 11 日から平成 23 年 11 月 30 日まで
- 2 対象者数 1591 名
- 3 回答数 1052 名
- 4 回答率 66.1%
- 5 回答者属性

【性別】

	男 性	女 性
回答者数	573 名	479 名
構成比	54.5%	45.5%

【年齢階層別】

	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代 以上
回答者数	95 名	237 名	285 名	230 名	150 名	55 名
構成比	9.0%	22.5%	27.1%	21.9%	14.3%	5.2%

【地域別】

	北 勢	中南勢	伊勢志摩	伊 賀	東紀州
回答者数	524 名	292 名	108 名	92 名	36 名
構成比	49.8%	27.8%	10.3%	8.7%	3.4%

※構成比については、小数点第二位を四捨五入しているため、合計は 100% になりません。

※北勢・・・四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、木曾岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町

中南勢・・・津市、松阪市、多気町、明和町、大台町

伊勢志摩・・・伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町

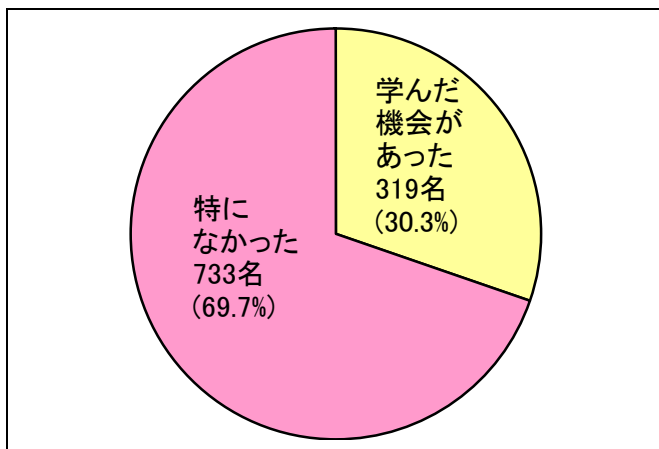
伊賀・・・名張市、伊賀市

東紀州・・・尾鷲市、熊野市、紀北町、御浜町、紀宝町

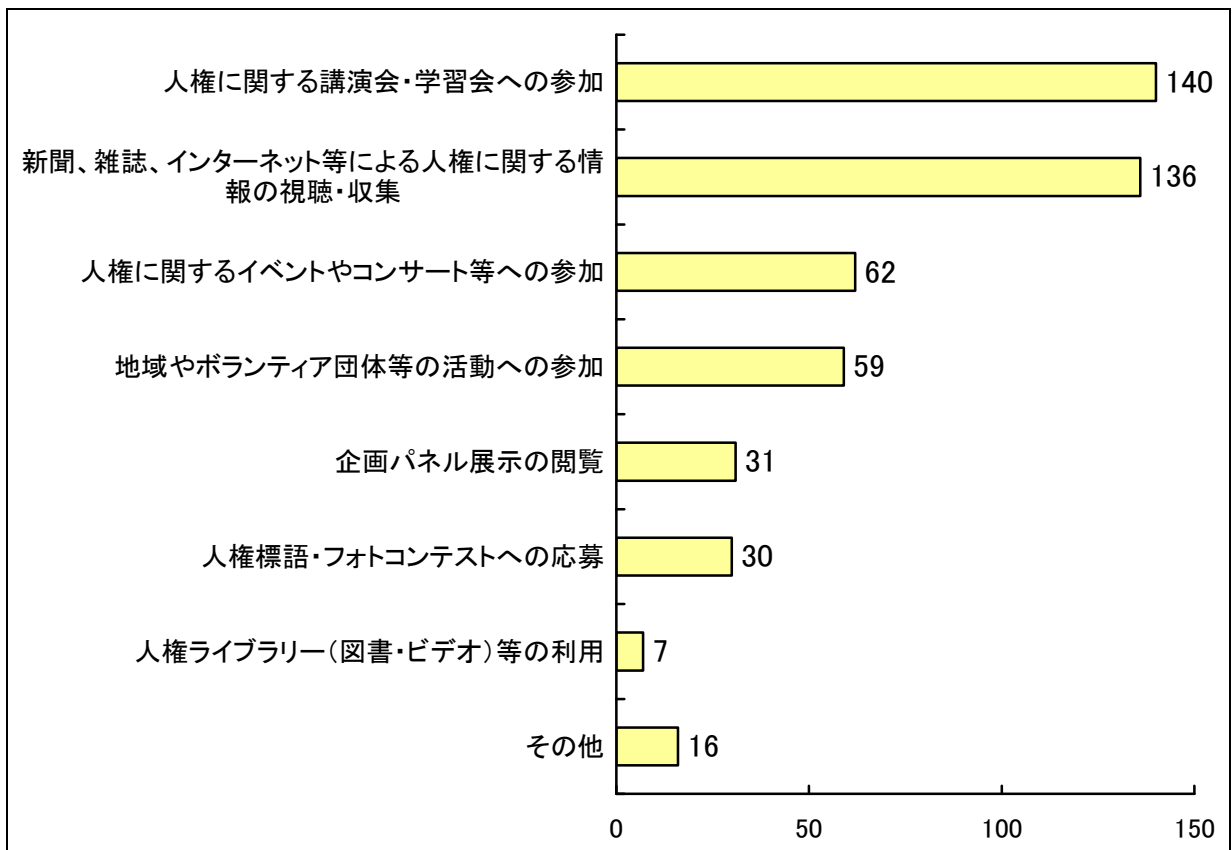
アンケート結果の概要

設問1 人権学習の機会について、最近一年間で人権に関して学んだり、知識を得たりした機会があった方は 319名(30.3%)で、特に機会のなかった方は 733名(69.7%)でした。

また、その機会について、「人権に関する講演会・学習会への参加」を選択された方が140名、「新聞、雑誌、インターネット等による人権に関する情報の視聴・収集」を選択された方が136名、「人権に関するイベントやコンサートへの参加」を選択された方が62名、「地域やボランティア団体等の活動への参加」を選択された方が59名でした。「その他」の回答では、「会社・職場での研修・学習会」、「小学校・保育園等の人権集会・講習会」などといったものがありました。



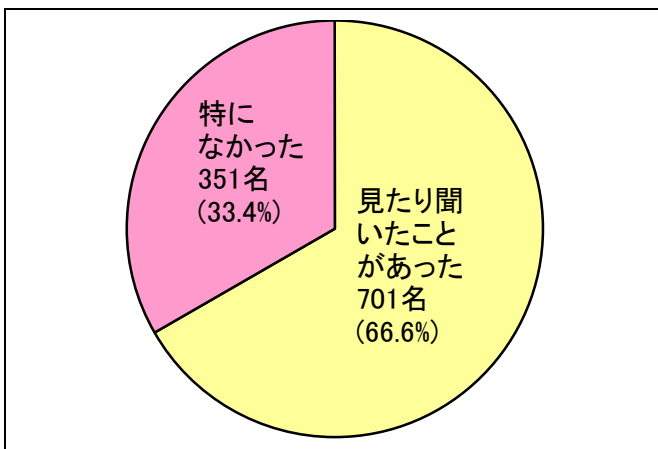
(単位：人)



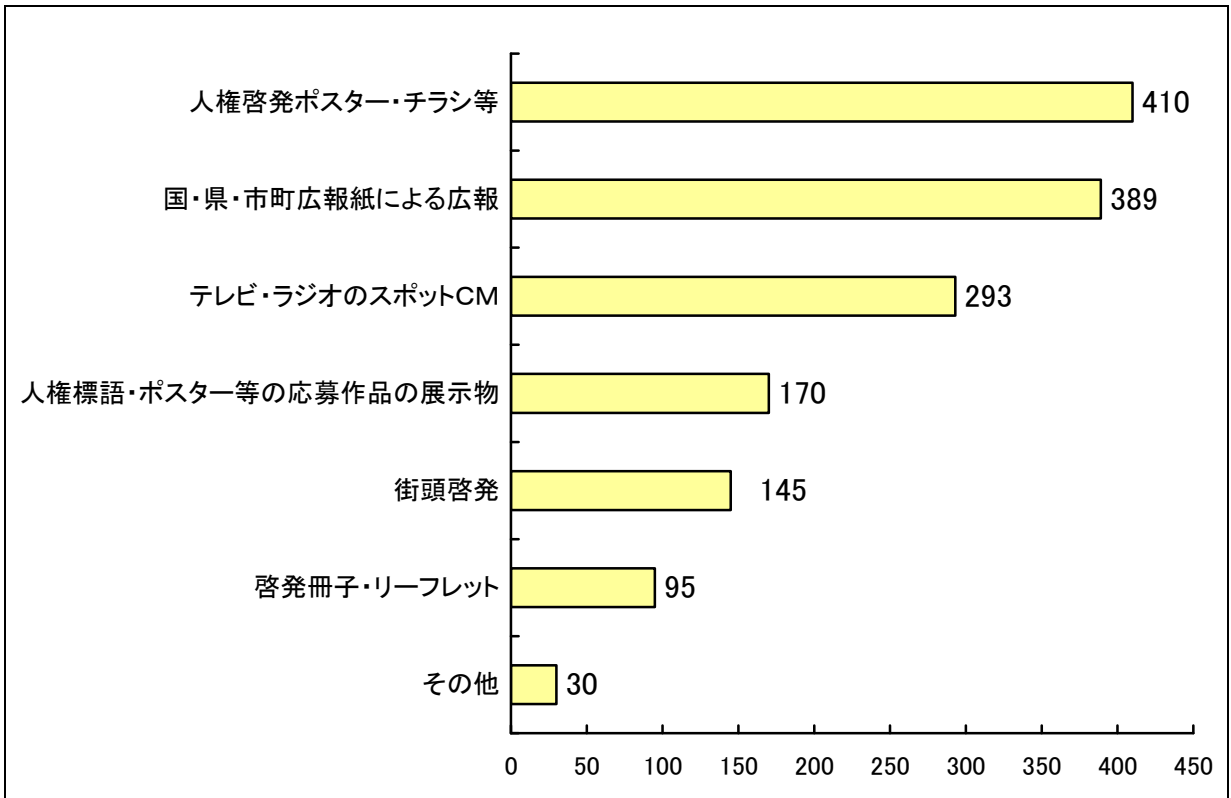
設問2 人権啓発について、最近一年間で人権に関する啓発等を見たり聞いたことがあった方は 701名(66.6%)で、特になかった方は 351名(33.4%)でした。

また、その取組について、「人権啓発ポスター・チラシ等の掲示物」を選択された方が 410名、「国・県・市町広報紙による広報」を選択された方が 389名、「テレビ・ラジオのスポットCM」を選択された方が 293名、「人権標語・ポスター等の応募作品の展示物」を選択された方が 170名でした。

「その他」の回答では、「会社での会報」や「テレビ・ラジオ等の番組」「新聞の記事」などといったものがありました。

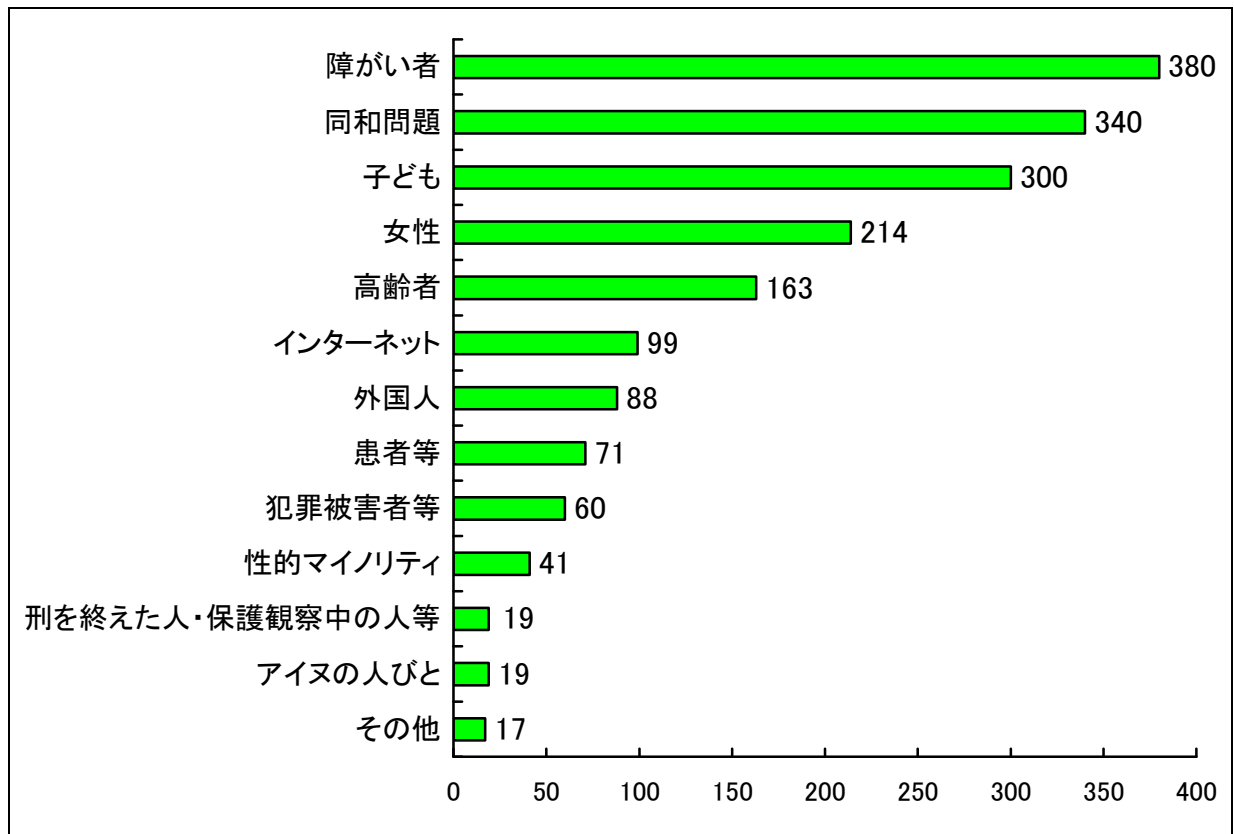


(単位：人)

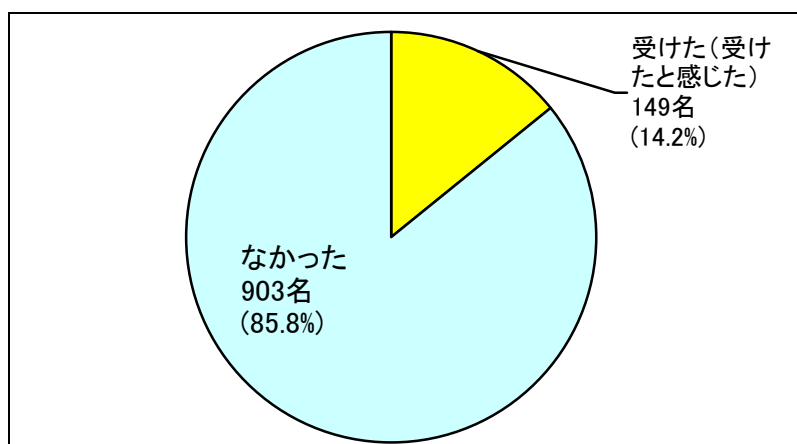


設問3 設問1または設問2において、関わりのあった人権問題について、「障がい者」を選択された方が 380名(21.0%)、「同和問題」を選択された方が 340名(18.8%)、「子ども」を選択された方が300名(16.6%)、「女性」を選択された方が 214名(11.8%)、「高齢者」を選択された方が 163名(9.0%)でした。

(単位：人)



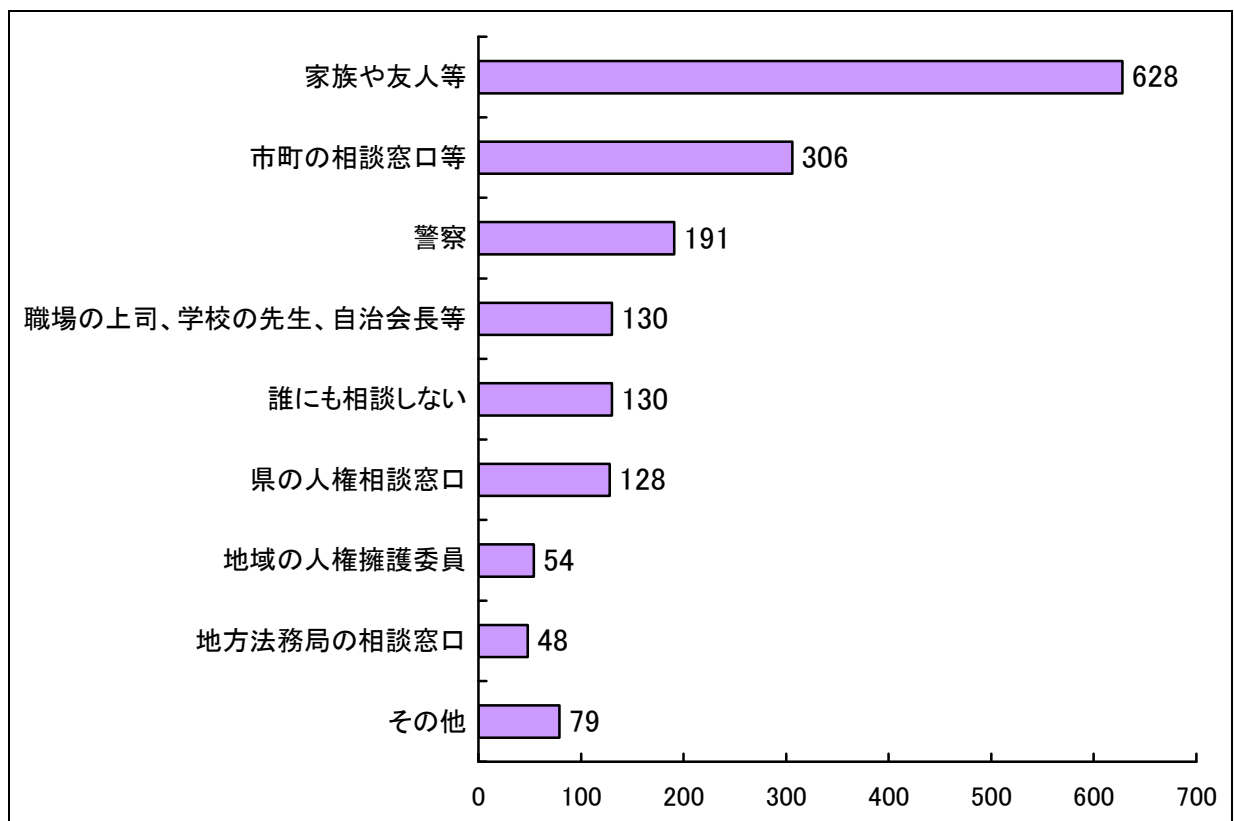
設問4 人権侵害について、自分、又は家族や友人・知人が、最近一年間でいじめや虐待、セクシャルハラスメント、ドメスティックバイオレンス(DV)、差別待遇などを受けた(受けたと感じた)方は 149名(14.2%)で、なかった方は 903名(85.8%)でした。



設問5 人権侵害を受けた場合の相談する相手・機関について、「家族や友人等」を選択された方が 628名（37.1%）、「市町の相談窓口等」を選択された方が 306名（18.1%）、「警察」を選択された方が 191名（11.3%）、「職場の上司、学校の先生、自治会長等」を選択された方が 130名（7.7%）、「県の人権相談窓口」を選択された方が 128名（7.6%）でした。また、「誰にも相談しない」を選択された方が 130名（7.7%）でした。

「その他」の回答では、「弁護士・行政書士など」や「職場のカウンセラー」、「インターネット」といったものがありました。また、「どこに相談したらいいのか、わからない」といった意見や「事情・状況により相談する相手は違う」といった意見がありました。

（単位：人）



※いじめや差別などの人権侵害を受けて困っている場合（困っている方がいる場合）、三重県人権センター等公的な機関でご相談を受けていますので、下記のホームページをご覧ください。記載の連絡先等へお問い合わせください。

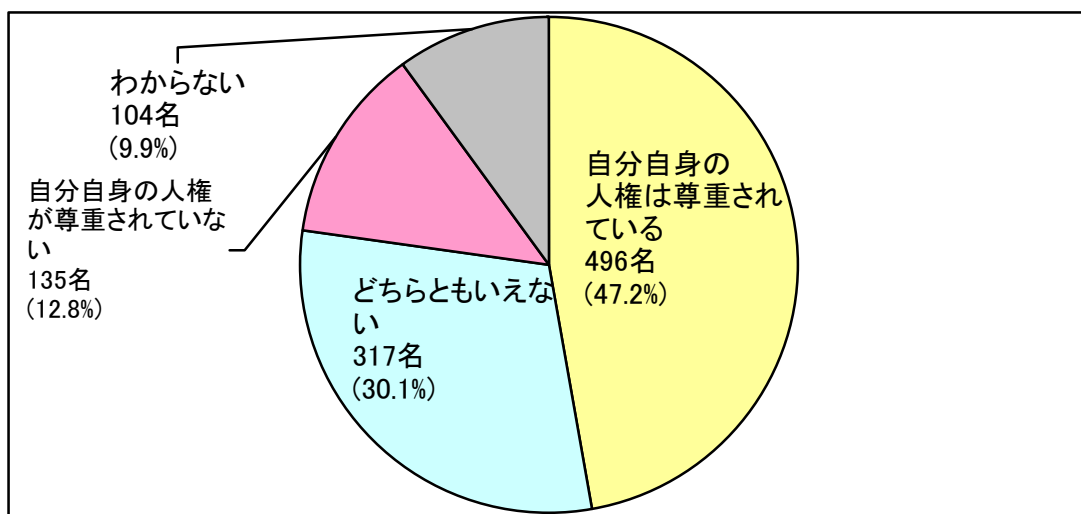
<https://www.pref.mie.lg.jp/JINKENC/HP/38043032182.htm>

設問6 自分自身の人権について、「尊重されていると感じている」と回答された方が 127名（12.1%）、「どちらかといえば感じる」と回答された方が 369名（35.1%）で、「自分自身の人権は尊重されている」と回答された方は、496名（47.2%）でした。

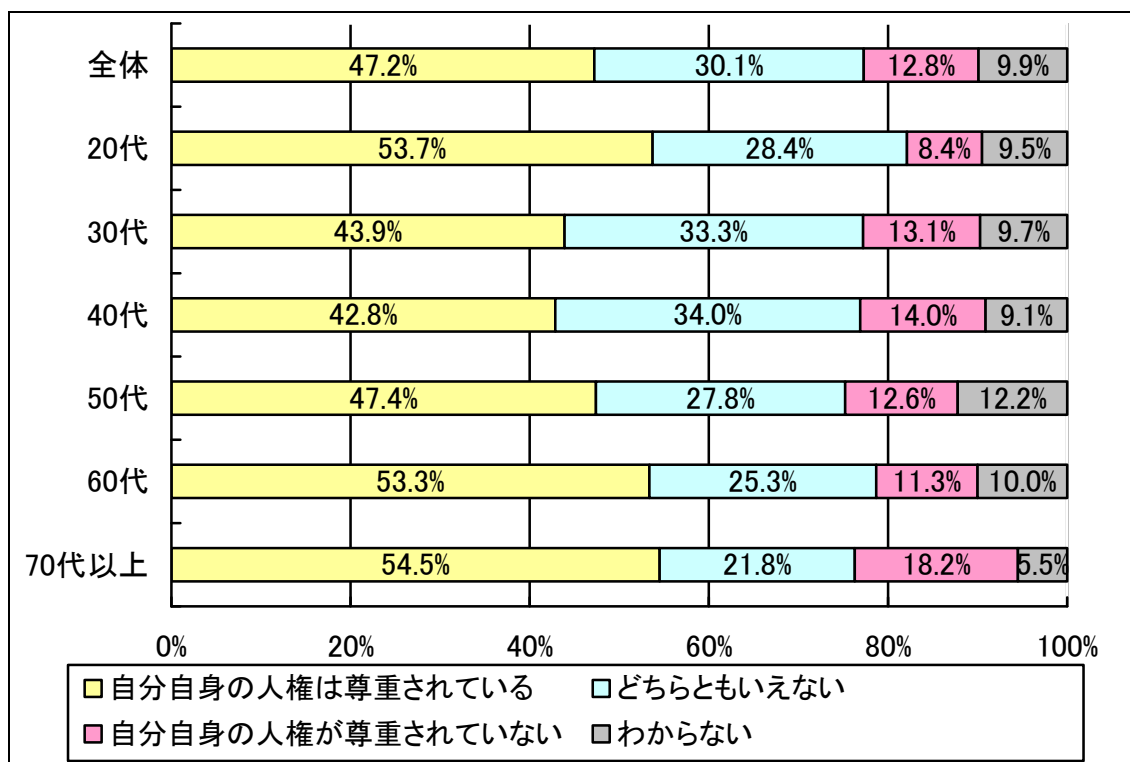
一方、「尊重されていると感じない」と回答された方が 57名（5.4%）、「どちらかといえば感じない」と回答された方が 78名（7.4%）と、「自分自身の人権が尊重されていない」と回答された方は、135名（12.8%）でした。

なお、「どちらともいえない」と回答された方が 317名（30.1%）、「わからない」と回答された方が 104名（9.9%）でした。

【総計】



【年代別】

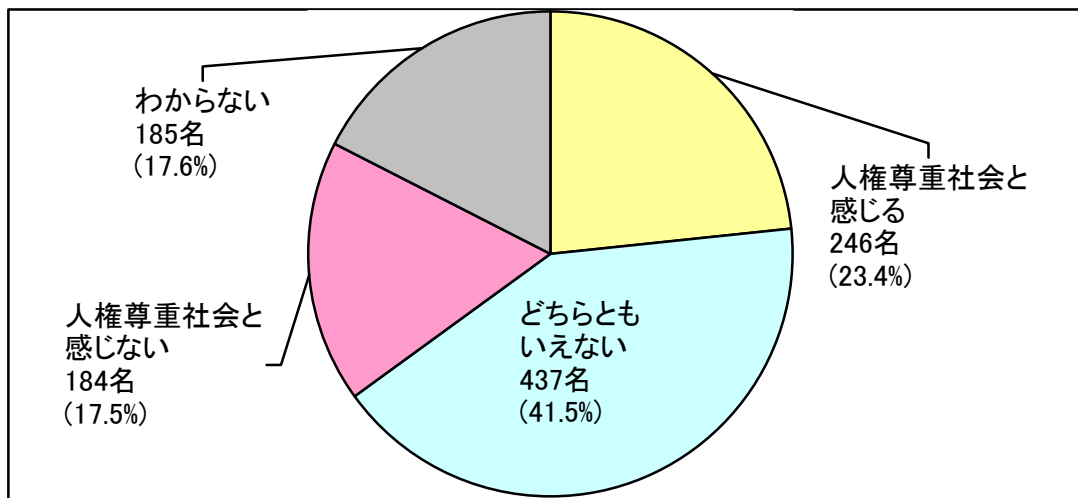


設問7 人権尊重社会について、「感じている」と回答された方が 28名(2.7%)、「どちらかといえば感じる」と回答された方が 218名(20.7%)と「人権が尊重されている社会になっていると感じる」と回答された方が 246名(23.4%)でした。

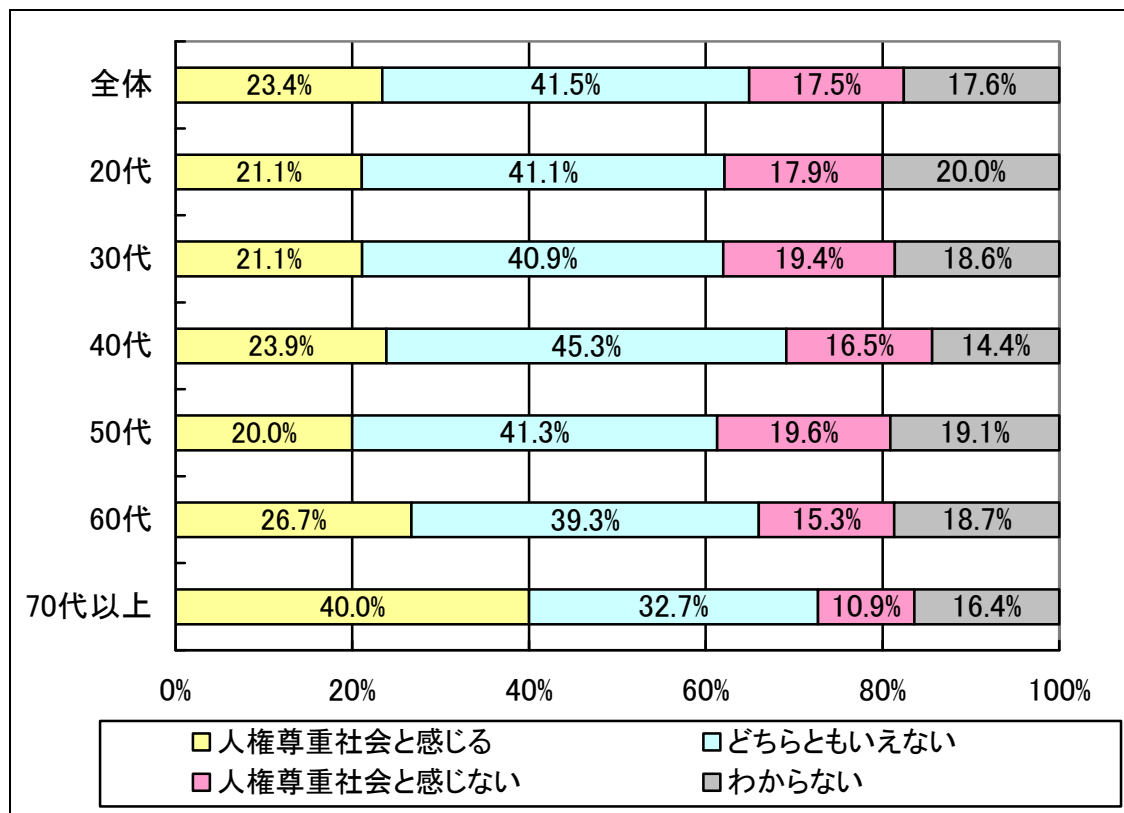
一方、「感じない」と回答された方が 72名(6.8%)、「どちらかといえば感じない」と回答された方が 112名(10.6%)と「人権が尊重されている社会になっていると感じない」と回答された方が 184名(17.5%)でした。

なお、「どちらともいえない」と回答された方が 437名(41.5%)、「わからない」と回答された方が 185名(17.6%)でした。

【総計】



【年代別】



設問 8 設問 7 で回答した理由について、「人権が尊重されている社会になっていると感じる」理由、「人権が尊重されている社会になっていないと感じない」理由など自由にご意見をいただきましたので、その一部を紹介します。

【人権が尊重されている社会になっていると感じる理由】

- ・身の回りで人権が侵害されているケースや情報を見聞きしたことがない。
- ・講演会の開催やポスターの掲示など、県民への啓発活動が充分されている。
- ・以前と比べて人権の観点が反映されたサービス（商業・行政とも）が提供されている。
- ・人権に関する教育がしっかり行われている。
- ・障がい児が普通学級に通学している。
- ・地域において、子どもを見守る活動や高齢者に対する相談・見守り活動が行われている。
- ・職場において、男女の差が少なくなったり、男女問わず意見し合っている。
- ・職場において、人権研修の機会がある。
- ・外国人が地域で受け入れられており、相談窓口もわかりやすく設けられている。 など

【人権が尊重されている社会になっていないと感じない理由】

- ・気軽に相談できるところが少ない。
- ・DVやこどものいじめ、児童虐待のニュースなどが多い。
- ・同和問題などの差別が根強く残っている。
- ・社会が男女平等ではない。性別によって、就職しにくい。
- ・会社で女性に対する扱いが悪い。女性が働きやすい環境にない。
- ・障がい者に対して、会社で昇格格差がある、採用がすくない。
- ・障がい者に対する配慮が乏しい。
- ・通行の多い道路でバリアフリーが進んでいない。
- ・人格を否定するような言葉を言う管理職がいる。 など

また、「どちらともいえない」「わからない」理由のご意見をいただきましたので、その一部をご紹介します。なお、質問に対するご指摘等もございましたので、今後の参考にさせていただきます。

- ・今現在、身近で人権について考える機会がほとんどないので、よくわからない。
- ・差別を受けていると感じた事はありませんが、私の気付かない所で差別されている事があるかもしれない。
- ・人権が尊重されている、されていないの判断がどういう所にあるか分からない。
- ・人権に対する考えは、人それぞれであり、どこで線引きをするか悩む。
- ・地域によって人権が尊重されているところと、そうでないところの差があるように思うので、どちらともいえない。
- ・三重県が他県と比べて尊重されている社会かどうか、その尺度がわからない。

設問9 人権が尊重される社会の実現のための取組について、522名の方から改善すべき点や新たに取組むべき点など自由にご意見をいただきました。このうち、主な意見は下記のとおりでした。

- ・「学校や家庭での教育」「幼児期からの教育」など『人権教育』に関する意見（122件）
- ・「参加しやすいイベントの実施」や「人権に関する取組等のPR」など『啓発・広報』に関する意見（97件）
- ・「弱者への思いやり・配慮」や「偏見や思い込みに惑わされないなどの個人の意識改革」といった「人権意識」に関する意見（54件）
- ・「地域で、いろいろな立場の人が話し合える機会の充実」や「あらゆる年齢の人が交流できる場の設置」など、『人権が尊重されるまちづくり』に関する意見（34件）
- ・「相談窓口の充実」や「気軽に相談できる場所の設置」など「相談」に関する意見（27件）
- ・「障がい者雇用に向けた積極的な取組」や「地域社会での自立生活に向けた環境づくり」など「障がい者」に関する意見（25件）